

Q30. ダムの整備を行うより森林の保全や雨水貯留などを行った方がよいのではないのでしょうか。

- 球磨川では、令和3年3月に「球磨川水系流域治水プロジェクト」をとりまとめ、公表しており、そのなかで「森林整備」や「田んぼダム」の取り組みも位置付けており、河川区域における対策の進捗を図るとともに、林業や農業の一次産業従事者をはじめ、流域のあらゆる関係者が一体となって、実効性のある球磨川水系の「流域治水」に取り組むこととしています。
- 森林は植林・間伐等の森林管理により、中小洪水においては雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を発揮します。一方で大洪水においては顕著な効果は期待できないことも想定されるため、様々な流域治水メニューを行っていくことが重要です。
- なお、流域内の土地利用の工夫やため池等による雨水の貯留・遊水機能の向上といった流域対策については、治水効果の定量的・定性的な評価を行うための技術的支援や新たな技術開発を大学などの研究機関と協力して推進していくこととしています。

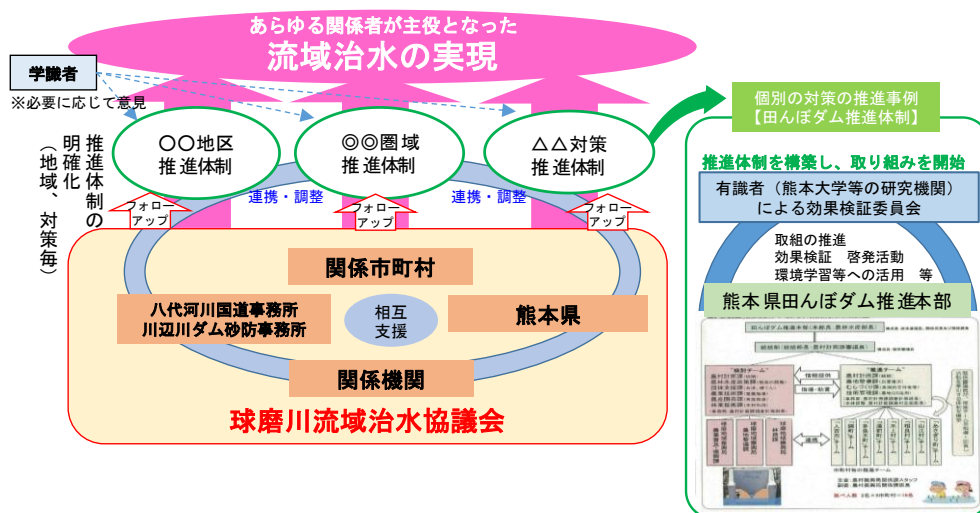


図 球磨川流域治水協議会の運営イメージ図

- 「球磨川水系流域治水プロジェクト」については、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ[「球磨川流域治水プロジェクト【令和3年3月30日】](#)、[「球磨川流域治水プロジェクトの更新【令和4年3月31日】](#)」に掲載しています。